

令和8年6月定例会

建設環境常任委員会 説明資料 （PDCAサイクルの事業進捗報告）

駅前広場施設改修事業

建設構想部

建設環境常任委員会 PDCAサイクルの事業進捗報告について

対象事業名：駅前広場施設改修事業

※全体の進め方

■常任委員会への報告フロー

- ・12月定例会 事業概要の説明及び令和7年度事業進捗の報告



- ・3月定例会 令和7年度事業進捗の報告



- ・6月定例会 令和7年度末事業進捗の報告

■6月定例会 説明骨子

令和7年度の事業進捗

- ・郡山駅西口駅前広場のリニューアル構想
- ・郡山駅東口・西口の基本構想

1. はじめに

郡山駅西口ロータリーは、交通結節点として市内外の方々に利用されており、極めて重要な拠点となっているが、一般車の乗降スペース以外での停車や長時間の乗車待が混雑の原因となっており、特に新幹線の発着時にはその傾向が顕著で、駅前大通りなどの渋滞の要因の一つとなっている。

また、市内の自動車保有台数は、現在の駅舎に改築された1980（昭和55）年当時の約10万台から2022（令和4）年には、約27万台となり、42年間で3倍近く大幅に増加するとともに、駅の利用者数も増加傾向にあり、今後は、人口減少や高齢化といった社会変化も見据える必要がある。

これまでの整備を経て現在の構造に至っているが、実際の利用状況とは合致しなくなっており、特に送迎車の長時間滞留が混雑の主な要因となっている。

こうしたことから、一般車の乗降スペースの見直しや、周辺駐車場の活用など、機能の再構築が求められている。

このような背景から、西口ロータリーの改修を含む郡山駅西口駅前広場のリニューアルを進めるとともに、駅まち空間全体（下図の対象区域110ha）のグランドデザインを作成し、駅まちデザイン基本構想を策定する。

イメージパース（郡山駅西口駅前広場）

※これはイメージを示したものであり、今後詳細な検討及び関係者との調整を進めます



駅まちデザイン基本構想 対象区域 110ha



2. 「駅まち空間」と「駅まちデザイン」

「駅まち空間」とは・・・駅、駅前広場、駅広隣接地区、周辺市街地において、**必要な機能の検討が期待される空間**（＝郡山駅周辺110ha）

「駅まちデザイン」とは・・・関係者が、**利便性・快適性・安全性・地域性の高いゆとりある「駅まち空間」を形成**するため、一連のプロセス（課題・ニーズ把握、機能配置・空間設計の検討、合意形成、役割分担、維持管理）に関する考え方や進め方。

従来の駅まち空間における都市アセット（都市資産・資源）

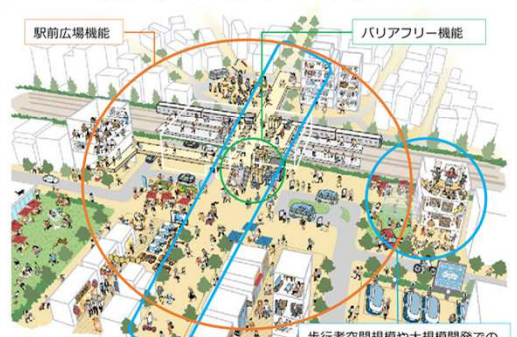
駅まち空間	駅空間	改札内	案内所（乗換・出口等）	乗降空間 乗換空間	
		改札外		滞留空間 通行空間 （自由通路）	鉄道のきっぷ
	駅前空間	駅前広場	観光案内所	乗降空間 乗換空間	バス等の乗車券
		駅広隣接地区		滞留空間 （公開空地）	商業施設
周辺市街地		保育園等 図書館	通行空間 滞留空間 （道路・公園）	商店街	



駅まちデザインにより目指すべき方向性

キーワード：交通結節点、バリアフリー、ICT
居心地がよく歩きたくなるまちなか

駅まち空間	駅空間	改札内	一体的な都市アセット			
		改札外	防災機能 （総合案内所）	乗降機能	環境形成機能 （交通サービスの充実）	
	駅前空間	駅前広場	通行機能 （受取送付サービス）	乗換機能		
		駅広隣接地区	滞留機能 （駅口外保育園等）	サービス機能		
周辺市街地				商店街		



歩行者空間規模や大規模開発での交通計画に関する検討事項など

3. 駅まち空間の現況

郡山駅の利用状況

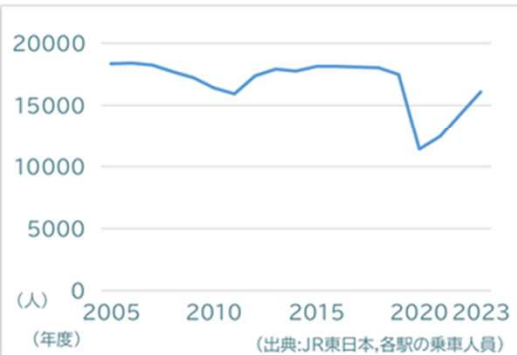


図 郡山駅の日平均乗車人員
出典: JR 東日本, 各駅の乗車人員

○郡山駅を利用する乗車人数は、コロナ禍の時期を除き、平均18,000人前後となっており、交通結節点であることから、利用状況は高い状態が続いている。

○郡山駅では東北新幹線と在来線の乗車人数はほぼ同数である。

○各路線が集中する郡山駅では、東北新幹線も含めて1時間に4本から7本の運行本数となっている。

郡山駅周辺地区に関する各種計画・資料等



○郡山駅周辺は主要渋滞区間・主要渋滞エリアとなっている。

■ : 主要渋滞区間
■ : 主要渋滞エリア

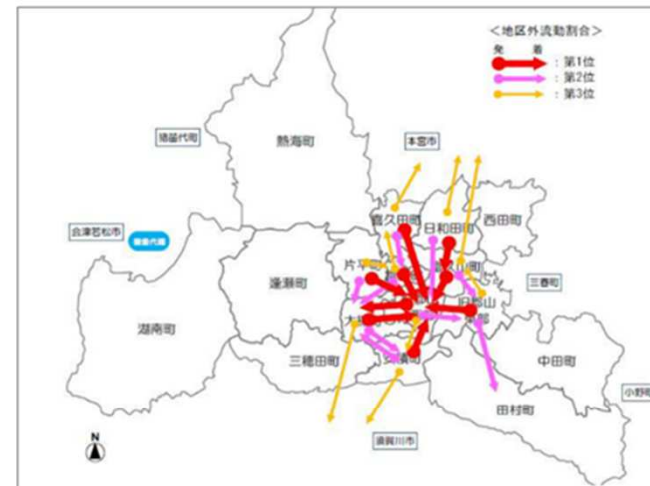
出典: 福島県渋滞対策連絡協議会説明資料 (令和8年3月16日)

駅周辺のまちづくりの動向



○大町土地区画整理事業は郡山駅前広場に接続する位置にあり、都市計画道路日の出通り線の拡幅整備の沿道で施行中である。

○駅前広場の既存ペデストリアンデッキに接続して、当該事業においてペデストリアンデッキの新規接続設置も施工されており、周辺の新規立地する商業施設等や周辺地域へ駅からの歩行者の利便性が高まっていくこととなる。



○郡山駅への流動が最も高く、交通結節点となっている。

郡山市内における地区間の移動状況
出典: 郡山市立地適正化計画

- ・ 郡山市総合交通計画マスタープラン
- ・ 郡山市バリアフリー基本構想
- ・ 郡山市まちづくり基本指針
- ・ 郡山市立地適正化計画
- ・ 郡山市総合都市交通戦略
- ・ 第二次こおりやまユニバーサルデザイン推進指針
- ・ 郡山市都市計画マスタープラン 2015
- ・ 郡山市中心市街地機能活性化ビジョン 他

4. 駅前広場利活用アンケートの実施結果・分析

アンケートの実施

○郡山市にて、「郡山駅西口駅前広場の利活用に関するアンケート」を実施した。

○アンケート実施機会

- 対象者：Z世代市職員（回答 76 名）
アンケート実施時期：2025 年 12 月～2026 年 1 月
- 対象者：第 27 回総合都市交通戦略協議議会（2026 年 2 月 5 日開催）の出席者（関係団体）
アンケート実施時期：2026 年 2 月 5 日～2026 年 3 月初旬
- 対象者：第 3 回中心市街地活性化懇談会（2026 年 2 月 16 日開催）の参加委員（関係団体）
特に「学校法人 国際総合学園国際ビジネス公務員大学校」については
学生 46 名が回答
アンケート実施時期：2026 年 2 月 16 日～2026 年 3 月中旬

アンケート設問

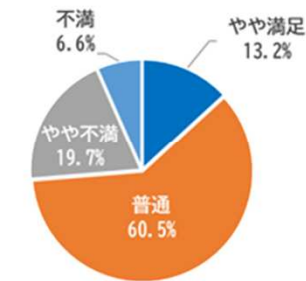
- お住いを教えてください。
- 主な利用目的を教えてください。
- 主に利用される交通手段を教えてください。
- 利用頻度を教えてください。
- 駅前広場の満足度を教えてください。
- 駅前広場の不満点を教えてください。
- イベントが開催されることについて教えてください。
- どのようなジャンルのイベントがあれば訪れたいと思いますか。
- イベントに参加した時、あった方が良いものはありますか。
- イベントが行われた場合、駅前広場の利用は増えると思いますか。
- 滞在時間はどのようになりますか。
- 「写真や動画を撮りたい」と感じる場所がありますか。
- そのような撮影スポットがあれば SNS で発信したいと思いますか。
- 撮影スポットがあることで、どのような行動につながると思いますか。
- 将来どのような場所になってほしいですか。
- 将来、残してほしいものはありますか。
- 将来、不要だと思うものはありますか。
- 将来、子供たちや、新たにこの街に来る人に「自慢できるポイント」として、どのようなものが必要だと思いますか。
- 将来、どのような場所にしたいですか。
- 利活用について自由にご意見をお書きください。

アンケート結果・分析

Q5. 駅前広場の満足度を教えてください。（複数可）＜抜粋して結果掲載＞

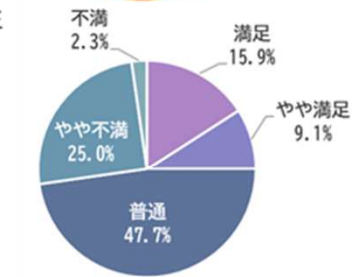
●Z世代市職員

カテゴリ名	n	%
満足	0	0.0
やや満足	10	13.2
普通	46	60.5
やや不満	15	19.7
不満	5	6.6
全体	76	100.0



●国際ビジネス公務員大学校の学生

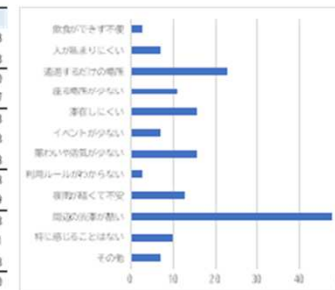
カテゴリ名	n	%
満足	7	15.9
やや満足	4	9.1
普通	21	47.7
やや不満	11	25.0
不満	1	2.3
無回答	2	0.0
全体	44	100.0



Q6. 駅前広場の不満点を教えてください。（複数可）＜抜粋して結果掲載＞

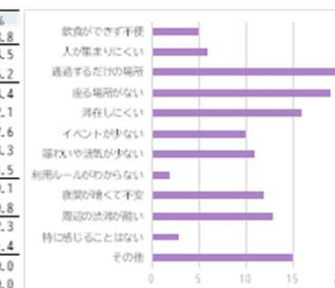
●Z世代市職員

カテゴリ名	n	%
飲食ができず不便	3	1.8
人が集まりにくい	7	4.3
通過するだけの場所	23	14.0
座る場所が少ない	11	6.7
滞在しにくい	16	9.8
イベントが少ない	7	4.3
賑わいや活気が少ない	16	9.8
利用ルールがわからない	3	1.8
夜間が暗くて不安	13	7.9
周辺の渋滞が酷い	48	29.3
特に感じることはない	10	6.1
その他	7	4.3
全体	164	100.0



●国際ビジネス公務員大学校の学生

カテゴリ名	n	%
飲食ができず不便	5	3.8
人が集まりにくい	6	4.5
通過するだけの場所	20	15.2
座る場所がない	19	14.4
滞在しにくい	16	12.1
イベントが少ない	10	7.6
賑わいや活気が少ない	11	8.3
利用ルールがわからない	2	1.5
夜間が暗くて不安	12	9.1
周辺の渋滞が酷い	13	9.8
特に感じることはない	3	2.3
その他	15	11.4
無回答	2	0.0
全体	132	100.0



アンケート結果・分析

【アンケート結果の概要】

「市職員2世代」の回答結果は、ロータリーや渋滞に注目した自動車目線での回答が多く、国際ビジネス公務員大学の学生」の回答結果は、滞在空間や治安などの歩行者目線の回答が多くあった。

【アンケート結果から考えられる整備方針】

①滞在・交流空間の質的向上

「座る場所がない」「滞在しにくい」という不満の解消

・全天候型施設の設置

広場に大屋根を整備し、要望で最も多く上がった「雨や雪、日差しを遮る施設」を実現することで、天候に左右されずに滞在できることとなる。

・気軽に休憩できる空間

広場の一部を「座ったりできる芝生」にすることや、樹木と一体的なベンチ等を整備することで、気軽に立ち寄れる滞在空間になる。

・イベント空間の充実

学生から要望が多い「音楽・ステージ」の開催に備えた、音響設備」「大型モニター」等の整備や、両者から要望が多い飲食系のイベント実現のために、給排水施設の整備により、イベント開催が充実する環境の創出。

②交通機能の利便性向上

ロータリーの混雑と歩行者の快適な移動の実現

・ペDESTリアンデッキの拡張

現在のペDESTリアンデッキをヨドバシカメラ方面、市道の横断が可能になるように拡張し、歩行者の回遊性と歩車分離による安全性の向上を目指す。

・送迎環境の改善

短時間無料駐車場の活用や、送迎専用の待機スペース確保により渋滞解消とともに、ロータリー内の滞留を抑制することを目指す。

・ロータリーの利便性向上

現在のタクシーと送迎車が混在している状況を、タクシーと送迎車を分離することで、ロータリー内だけでなく、周辺道路の渋滞解消を目指す。

・デジタルサイネージ電子決済による利便性向上

デジタルサイネージを設置し情報発信することや、バス利用の支払いを電子決済にすることで、日常的な利便性の向上だけでなく、観光客にも分かりやすく、使いやすい環境を目指す。

③安心・安全な環境

学生が強く感じている「治安の悪さ」「客引き、勧誘」への対策強化

・照明による防犯

照明設置をより強化することで、防犯性の向上を図る。

・取り締まりの強化

客引き、ナンパ、勧誘などに対するパトロールや、カラスのフンの清掃を徹底し、安心して利用できる環境を維持する。

④郡山らしさを感じることができる空間整備

「郡山の顔」として、愛着の持てる象徴となる空間を整備する

・既存施設の活用

両者から保存希望の多い「樹木・植栽帯」、噴水前のステージを活用し、愛着の持てる空間整備

・既存施設の撤去、新設

両者から不要意見の多い、「水路」は撤去、「時計台」は撤去・新設するリニューアルが考えられる。

・重厚感のある郡山に

派手なイルミネーション等によるSNS映えを追求することより、流行に囚われない重厚感のある郡山らしさが求められており、整備方針とする

⑤長期的な駅周辺の整備

西口駅前広場だけでなく、東口駅前広場を活用されることが望まれている。

⑥各事業者からの意見

事業者目線の意見として主に以下の意見があった。

【東日本旅客鉄道株式会社東北本部】

・当該広場は、郡山市と弊社の協定広場であることから、どのような将来像を描くとしても弊社との協議が必要となることはご理解いただきたい。

・駅前広場は弊社の鉄道利用者も使用する場所であるので、交通結節点機能など利用者の利便性や安全性を損なわない形で検討を進めていただきたい。

・西口だけの賑わい創出という視点だけでなく、長期的な郡山駅周辺全体の賑わい創出や地域課題の解決も見据えた計画とするのが望ましいと考える。

【郡山国道事務所】

・現在の駅前広場をそのまま人口地盤、橋上化し、地上部分を交通結節点機能強化に利用すべき都市の規模、駅の規模から見ても駅から大通へは自由に連絡できる通路が必要、横断歩道で遮るのは都市の回遊性の障害となる駅前交差点の交通処理や容量拡大においても効果的と考えられる。

【郡山駅前大通商店街振興組合】

・郡山駅・西口広場は郡山市の玄関口という認識なのでその奥の間である中心市街地の商店街との連携も不可欠と考える。税金を投入して再開発するのであれば車の流れだけでなく面として車、人の流れを考えて欲しい。

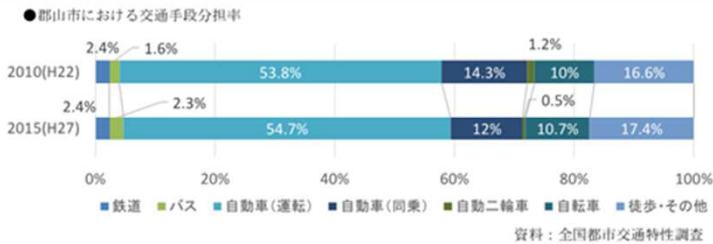
【福島交通株式会社郡山支社】

・バスステーションの位置は分かっていますが、あえて書かせていただきます。弊社としましては、本来はバスステーション（待合所）を貨物通り沿いに設置いただき、今の案内所付近のスペースをお客様がバス乗車のために並ぶスペースとしたいと思っています。3番乗場は日大生、帝京生で朝の時間帯は、建物を囲う様に並んでいます。4番のりばは、特に仙台線が多い時には6番の前くらいまで並びます。高速バスは、行先毎に並ぶ場所が必要で、今の場所だけでは狭いと感じています。

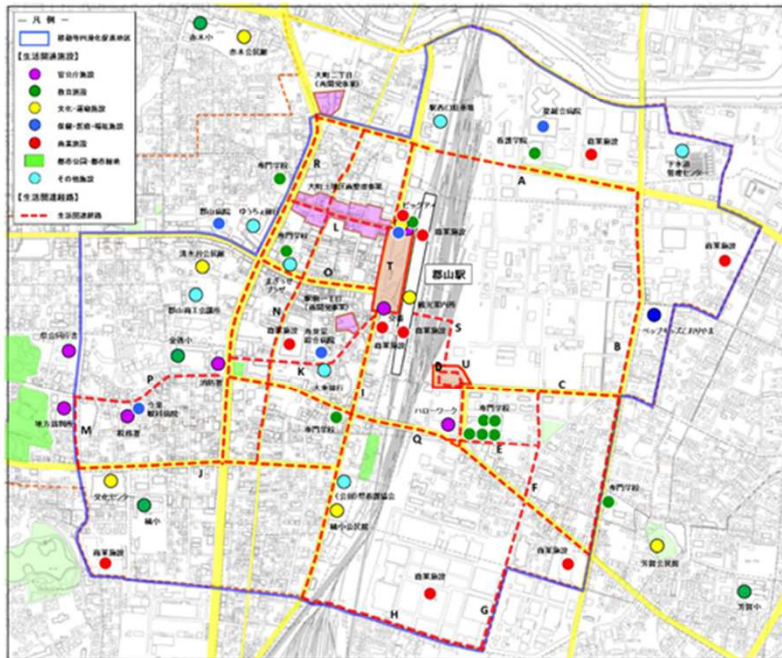
5. 機能別の既存施設の現況課題・対策案

一般車

- 郡山市における自動車分担率は約65%と、自動車への高い依存傾向がみられる。
- 「郡山市ユニバーサルデザインのまちづくり市民等意識調査」での意見
施設に駐車場がない、停められる台数が少ない。案内表示が分かりにくく不十分。
アンケート等からの意見。西口ロータリーが渋滞している。タクシーと交差が危険。
車が止めにくい。駐車場が不足している。
⇒交通社会実験を実施。西口ロータリー改修基本設計で対応。
- 東口駅前広場の利用が少なく、車両分散が課題。
⇒東口駅前広場の移転（駅舎からストレートな自由通路の位置へ）＜長期目標＞
駅周辺の未利用地を交通渋滞解消に寄与する補完施設の整備＜中長期目標＞



【移動等円滑化促進地区、生活関連施設及び関連経路】



歩行者（賑わい広場）

- 郡山駅西口周辺の歩行者交通量の推移は20年間で約1/3に減少しているが、近年は横ばい状況。比較的規模の大きい商業施設の閉店または郊外への新規出店に伴い、駅周辺を回遊する人が減少している。
- 西口駅前広場から市道の横断について、歩車分離の安全性、歩行者の安全性から、ペDESTリアンデッキの拡張が望まれている。
⇒ペDESTリアンデッキの拡張を中期的な整備方針とする。
- 賑わい広場について、アンケートを通じて課題が多くある。
（座る場所がなく、滞在しにくい。雨・雪、日差しを遮るものがない。イベント時の音響・モニター不足、飲食ができない。
⇒賑わい広場の整備方針として以下を整備方針とする。
大屋根設置、一部芝生広場、樹木と一体のベンチ設置、音響設備・大型モニター設置・給排水施設・照明の整備。デジタルサイネージの設置、水路の撤去、時計台のリニューアル。SNS映え重視でなく重厚感と郡山らしさのある駅前広場に。
- 客引き・勧誘等の治安が悪く対策強化が必要。
⇒照明設置による対策、パトロール強化等。カラス対策。



フロンティア通りの
貨物車用駐車スペース



自転車

- 郡山駅周辺で自転車通行環境整備のモデル地区として自転車レーンの設置、自転車歩行道における走行位置の明示、啓発活動が行われている。
- 自転車利用者に駐車禁止区域の周知とマナーの向上を図るなど、放置自転車の減少に向けた対策を継続的に推進している。
⇒シェアサイクル、レンタサイクルの普及・整備の支援を検討

整備手法	整備済み (09.12現在)	H21年度迄 整備予定	H22年度以降 整備予定
自転車レーンの設置	■■■■■	■■■■■	■■■■■
自転車歩行道における 走行位置の明示	■■■■■	■■■■■	■■■■■
自転車歩行道の整備	■■■■■	■■■■■	■■■■■
その他	■■■■■	■■■■■	■■■■■



郡山駅東口のロータリー

6. 交通量調査・社会実験・駅前基本設計を通じたの施設対策案

交通量調査・交通量予測を通じた交通対策案の検討

- 西口ロータリーと市道の交差点について、交通量調査（令和7年10月24日調査）
 - ・交通量予測の解析結果として、当該交差点での渋滞原因は、駅前広場内の混雑に起因していることが判明した。
 - ⇒駅前広場内の改修設計に伴う、交差点、駅前大通りの改修・施設対策を行う。
 - ⇒必要に応じて、補足の交通量調査・交通量予測を行う。

社会実験を通じた課題への対応検討

- 交通社会実験を令和7年11月10日～11月30日に実施した。
 - 目的：駅前広場の混雑解消に向けての、駐車場の距離と利用度の関係性の確認
 - 実施場所：西口ロータリー、西口市営駐車場、東口周辺市道の3箇所
 - 実施概要：臨時乗降場の設置、アンケート調査、車両滞在時間調査、駐車台数調査
- 交通社会実験の調査結果
 - ・西口ロータリー内の臨時乗降場の設置により、一般車の利用台数が32%増加（622台→822台）
 - ・西口ロータリー内の臨時乗降場の設置により、一般車の滞在時間が52%短縮（平均13.6分→6.5分）滞在15分以上の車両が大幅に減少。
 - ・西口ロータリー内の渋滞長が53%減少（最大渋滞長150m→平均70m）
- 駅前広場の混雑緩和に向けた緩和策
 - 駅前広場に一般車の必要区画数を確保することが必要であり、改修計画（基本設計）で検討することとなるが、ハード対策以外では運用時に以下の対策が考えられる。

混雑緩和策（案）

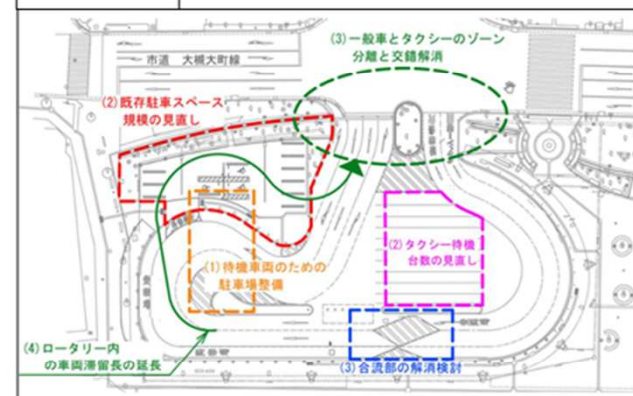
対策方針	具体的な対策	備考
降車スペースの適正利用	●係員の配置	
	●センサーによる長時間駐車 の注意	
	警察による取り締まり	
駐車場の料金施策	●看板設置	
	●無料時間の設定	15分以内無料
利用マナーの向上	●料金負荷の検討	周辺駐車場より高額な設定が適切。
	●看板設置	
	市広報・ホームページへの掲載 SNS等での周知	

●改修直後に実施が望ましい対策

西口ロータリー改修（駅前広場基本設計）

- 西口ロータリーでは、待機車両等による混雑が慢性的な交通渋滞の要因となっておりこの短期的な課題である駅前広場の交通渋滞緩和と、安全かつ利便性向上を図るため西口ロータリーを改修する、基本設計を令和7年度に実施した。
 - ⇒現況課題と計画（基本設計）は下図のとおり。
- 本整備計画に伴い、駅前交番の移設が必要となる。
 - ⇒交番の移転先としては、駅前広場内を想定している。
- わかりやすい情報伝達・情報提供の駅前広場全体との整合
 - ⇒今後の「駅まちデザイン基本計画」におけるデジタルサイネージ導入の検討。
 - （交通情報、観光案内、行政サービス、災害時緊急情報、工事中情報、多言語対応、等）

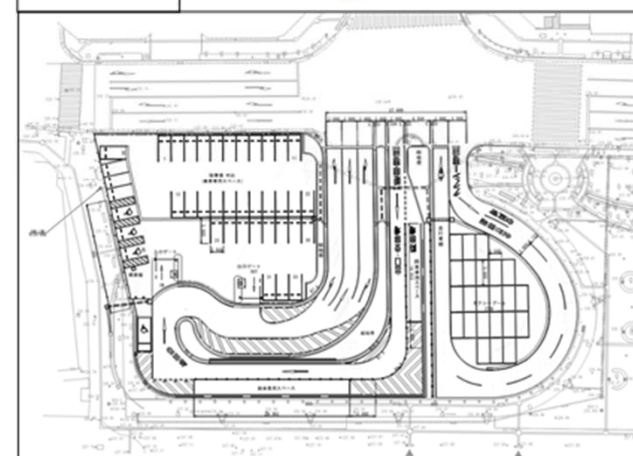
現況課題



■課題解決の方向性

- (1) 待機車両のための駐車場整備（混雑緩和）
- (2) 既存駐車スペースおよびタクシー待機台数の見直し
- (3) 一般車とタクシーのゾーン分離と交錯解消
- (4) ロータリー内の車両滞留長の延長

計画



■計画（基本設計）

- (1) 一般車駐車場 40台（乗車専用スペース）
- (2) タクシー待機台数 23台
- (3) 一般車とタクシーのゾーン分離
- (4) 一般車の降車専用スペース 2箇所

7. グランドデザイン (全体構想 110ha) 対策施設提案

○駅まち空間の現況、現況施設・配置の課題を踏まえ
将来(理想像)の施設課題への対策案として、
以下の提案①～⑦が考えられる。

番号	内容	説明
【提案①】	西口の集中交通の分散	東口整備、既存道路の乗降場所利用、西口整備
【提案②】	低未利用地の活用	自動運転タクシー待機場、スマートフィールド、ドローンポート等の新技術の導入施設用地として活用
【提案③】	東口の戦略的開発と東西連携の強化	東口駅前広場の移転、東西自由通路の短縮 東口から医療機関への自動運転ビリティの導入
【提案④】	パデストリアンデッキ延長、歩道整備による回遊性向上	既存のパデストリアンデッキを駅前広場に延長し駅前大通りまで渡し歩行者の安全性、回遊性を向上 駅前大通りから「おまちテラス」を結び県道355号の歩道を整備し歩行者の回遊性向上
【提案⑤】	教育施設や企業と連携した魅力向上	既存の教育施設や企業の特性を生かした賑わいのある東口駅まち空間の整備
【提案⑥】	緑と水の空間創出	駅東西自由通路の緑化、緑のカーテン、歴史・親水空間の創出
【提案⑦】	日陰空間の創出	猛暑対策(日陰創出、ミストシャワー、路面冷却)



駅前大通りより北側の
県道355号線

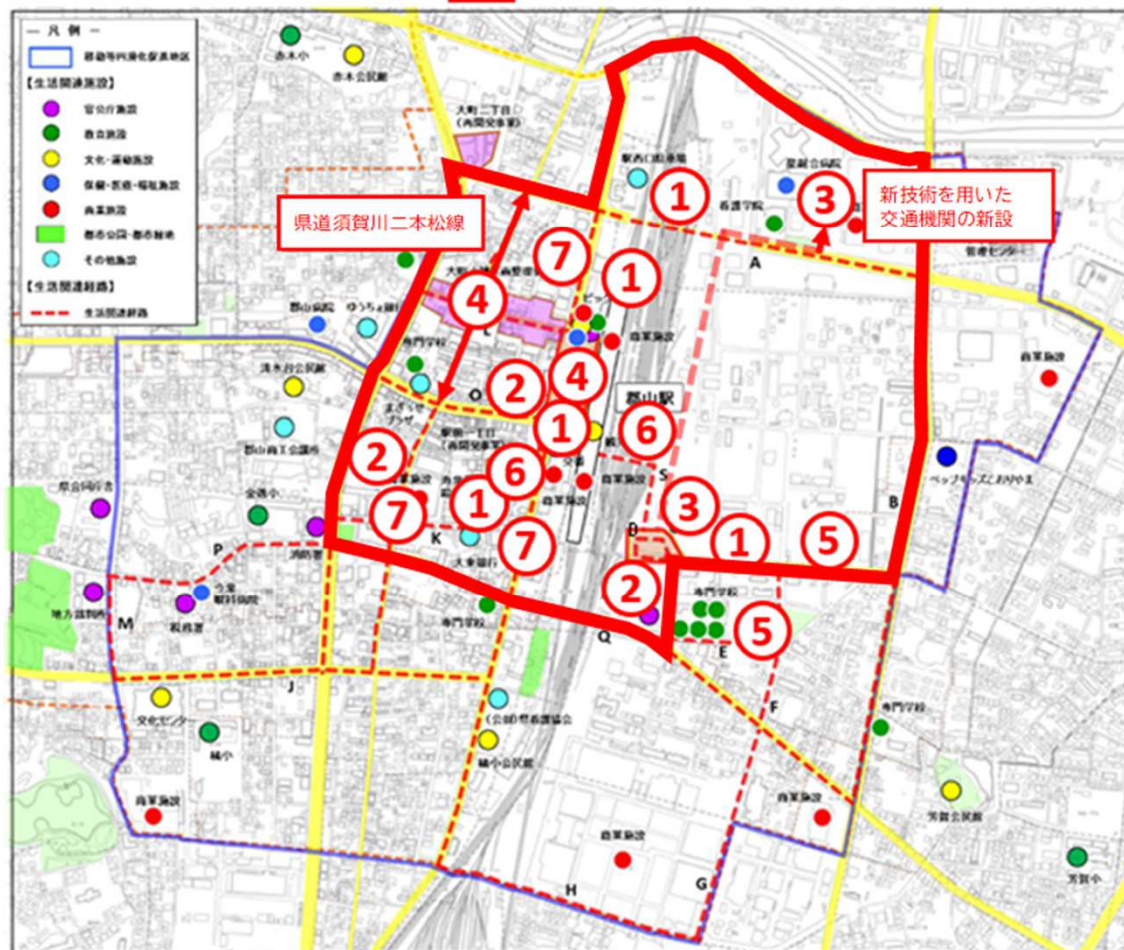


東口の教育施設群



緑化された駅東西連絡通路
(新山口駅:垂直の庭)

駅まちデザイン基本構想 対象区域 110ha



<施設・対策案の提案箇所>

提案① 西口の集中交通の分散

提案② 低未利用地の活用

提案③ 東口の戦略的開発と東西連携の強化

提案④ パデストリアンデッキ延長、歩道整備による歩行者の回遊性向上

提案⑤ 教育施設や企業と連携した魅力向上

提案⑥ 緑と水の空間創出

提案⑦ 日陰空間の創出

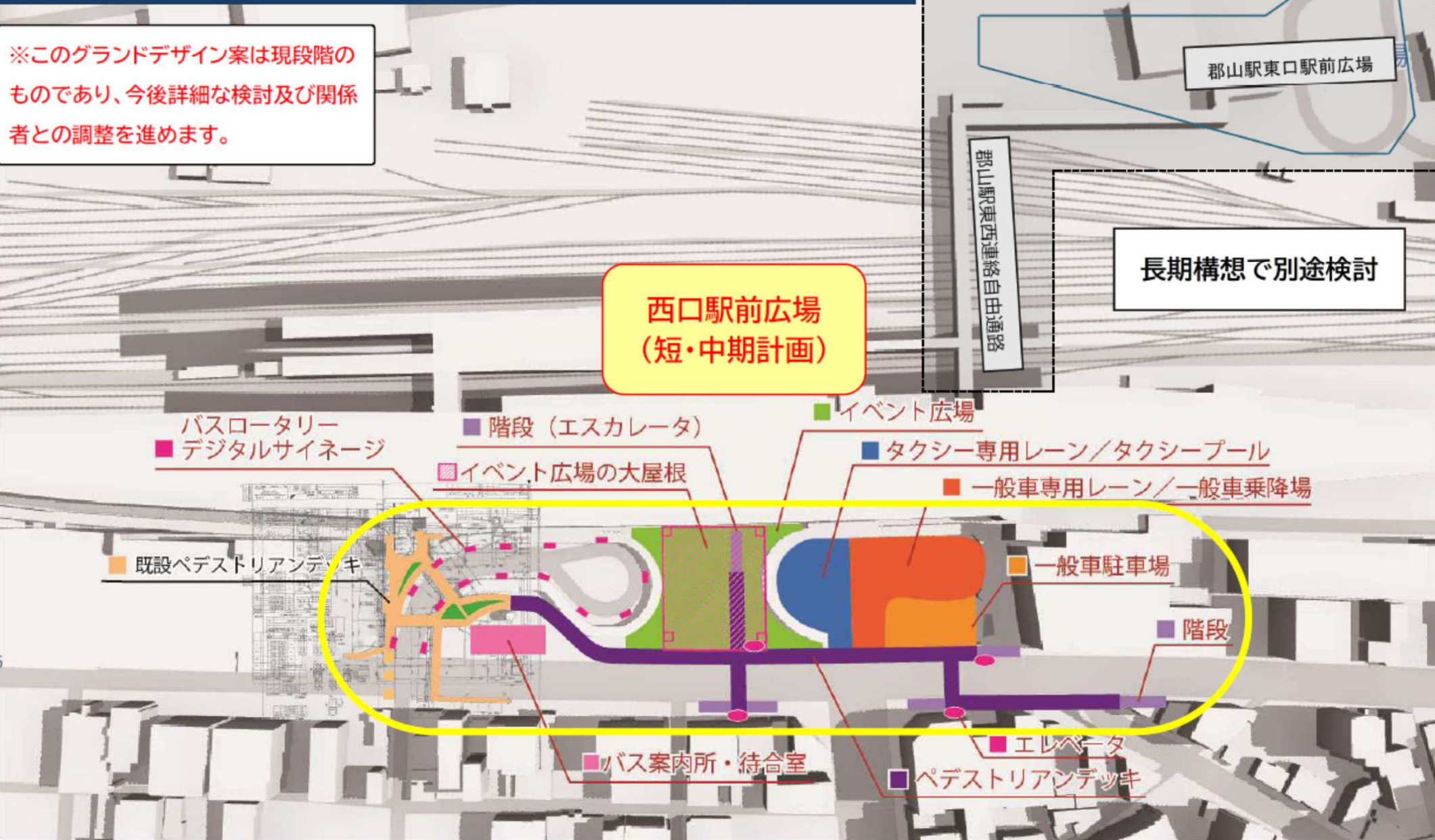
施設現況課題の抽出・駅まち空間構成に必要な施設・対策案の提案図
出典：郡山市総合交通計画マスタープラン

8. 駅まちデザイン (郡山駅西口・郡山駅東口) 対策施設提案①③④⑤

駅まちデザインのビジョン

- 将来都市像 東北の鼓動 未来を奏でる 「選ばれるまちへ」 の実現
- 郡山駅前周辺の渋滞緩和と若者や観光客で賑わう、魅力ある多様な空間を創出

※このグランドデザイン案は現段階のものであり、今後詳細な検討及び関係者との調整を進めます。



9. 駅まちデザイン（郡山駅西口）対策施設提案①

○駅まちデザインビジョンの実現に向けて、
 西口駅前広場の短期（令和7年度～令和10年度頃）の整備事業を以下のとおりとする。

駅まちデザインのビジョン

- 将来都市像 東北の鼓動 未来を奏でる「選ばれるまちへ」の実現
- 郡山駅前周辺の渋滞緩和と若者や観光客で賑わう、魅力ある多様な空間を創出

賑わい広場のリニューアル

新たなまちなかの賑わいを創出するため、
 物販やPRイベント、キッチンカーやフリー
 マーケット等が開催しやすいよう、賑わ
 い広場をリニューアルします

賑わい広場



西口ロータリーの改修 《R9年度工事着手》

駅周辺の渋滞解消のため、
 西口ロータリーの改修を進めます

- 一般車専用レーン／一般車降車場
 一般車の降車場と乗車場を完全に分離します
- 一般車駐車場（乗車専用）
 新たに「一般車乗車待ちスペース」を設置します
- タクシー専用レーン／タクシープール
 タクシーと一般車を完全に分離します

バスロータリーの環境整備

安心で利便性の高いバスロータリーの環境
 整備を進めます



■ バスステーション

災害やイベント、バスの運行情報など、
 情報を発信する拠点と待合スペースを備えた、
 多機能型デジタル・バスステーションを新た
 に整備します



■ バスロータリー・賑わい広場 デジタルサイネージ

バスの運行情報、市観光情報、市政情報
 などを提供するデジタルサイネージを新た
 に設置します

※これはイメージを示したも
 のであり、今後詳細な検討及
 び関係者との調整を進めます

10. 郡山駅西口駅前広場周辺のイメージパース 対策施設提案①

- 西口駅前広場の短期整備事業をより具体的なイメージパースとして示す。
- 西口ロータリーの改修、賑わい広場のリニューアル、バスロータリーの環境整備

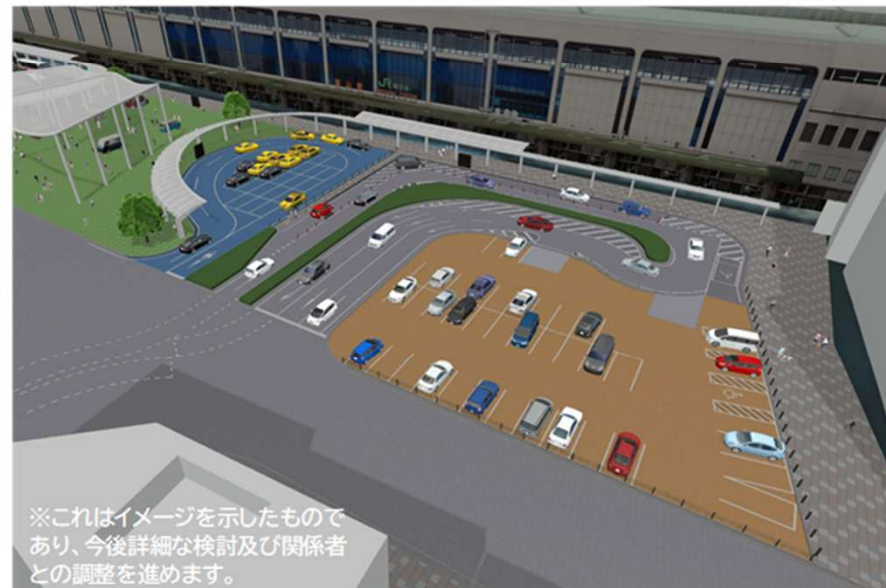
① 南西上空から駅前広場方向



③ 南からロータリー越し駅前通り方面



② 南西ホテルからロータリー方面



④ 賑わい広場からロータリー方向



駅まちデザインのビジョン

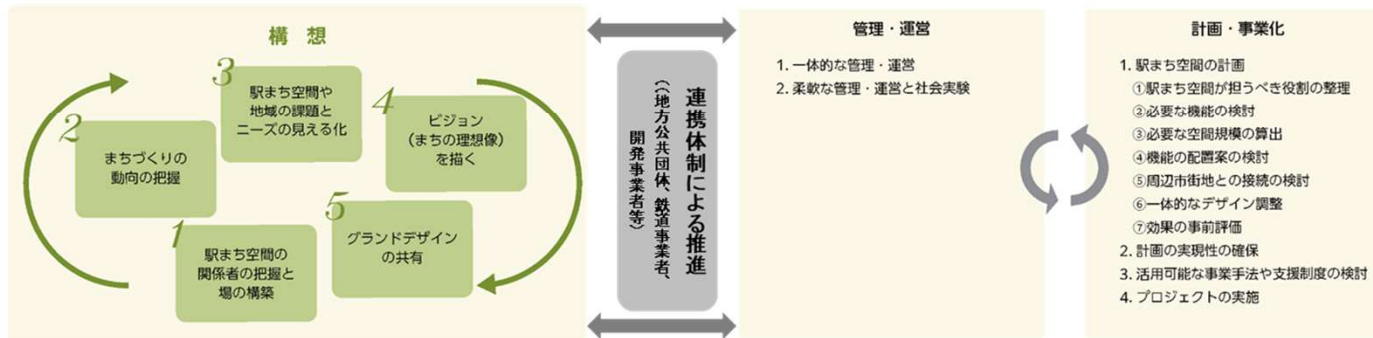
- 将来都市像「東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち郡山」の実現
- 郡山駅前周辺の渋滞緩和と若者や観光客で賑わう、魅力ある多様な空間を創出

駅まちデザインの5原則 出典：駅まちデザインの手引き

多様な主体の連携	①多様な主体の連携 ⇒『駅まちデザイン会議』の設置提案 ⇒関係者が連携し計画づくりを行う場づくり ⇒メタバースを活用したニーズ把握	
ビジョンの共有	②ビジョンの共有 ⇒将来像のイメージベースによる共有 ⇒3D都市モデルの活用	
空間の共有	③空間の共有 ⇒施設の所有区分に関わらない、駅まち空間全体を移動・滞在しやすく、活用しやすい環境とするために、一体的な空間として捉える	
機能の連携	④機能の連携 ⇒サービス連携 ⇒多様なモビリティの集約・最適配置 ⇒ICT技術の活用	
一体的で柔軟な運営	⑤一体で柔軟な運営 ⇒道路占用等の柔軟な公共空間の活用検討 ⇒まちを面的に管理・活用・運営するためのマネジメント組織(タウンマネジメント組織)の組成検討	

11. 基本計画策定に向けた基本的なデザイン方針

基本計画策定等に向けて『(仮称) 郡山駅まちデザイン会議』等の組織を設立し、将来のまちのあり方を検討するため関係者に参加いただき、連携します。



出典：駅まちデザインの手引き 管理・運営方法について一例

12. 全体工程表 (年度別の実施項目)

『(仮称) 郡山駅まちデザイン会議』等の組織と連携し、各項目について工程管理し、進捗を図ります。

項目	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度以降
西口ロータリー	基本設計	実施設計	改修工事	-
交通量調査	交通量調査 交通量予測 社会実験	補足交通量調査	-	-
駅まちデザイン	基本構想策定	基本計画策定 (仮称)郡山駅まちデザイン会議	個別計画策定	個別工事

郡山駅周辺地区 駅まちデザイン基本構想

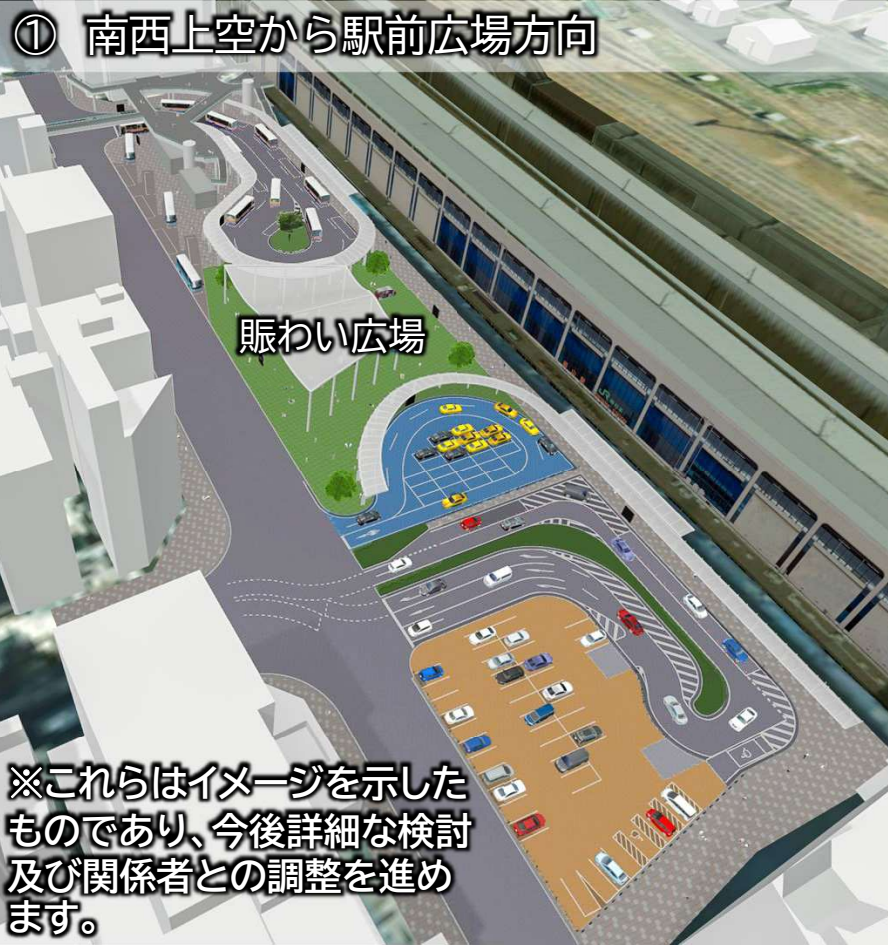
令和8(2026)年3月策定

- 発行 郡山市
- 作成 郡山市建設構想部道路保全課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
 TEL: 024-924-2301
 FAX: 024-931-5243
 E-mail: dourohozen@city.koriyama.lg.jp

郡山駅西口駅前広場のリニューアル構想

東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまちへ 郡山駅西口駅前広場が生まれ変わります



西口ロータリー改修

- ・タクシーと一般車の動線を完全分離
- ・慢性的な渋滞緩和

- ・イベント等が開催しやすい空間の創出

賑わい広場の
リニューアル

項目

令和8年度

令和9年度

令和10年度以降

郡山駅周辺 110ha

郡山駅西口ロータリー

6月公告
7月契約

基本計画策定

実施設計

改修工事 着手

郡山駅西口駅前広場、大屋根
バスステーション 等

実施設計

改修工事 着手

